

八戸市連合父母と教師の会会長賞

笑顔の花だん

柏崎小学校 五年 藤田 真緒

私は、学校で環境委員会の活動をしています。仕事をしていくうちに、身の周りの花や木、緑を守りたいと思うようになりました。そこで、今年の私の目標を決めました。それは、「みんなが過ごしやすい環境をつくる。みんなに笑顔になつてもらうために働く。」という目標です。その目標に近づくために、夏休みや昼休みにたくさん活動をしています。環境のことにだんだんときようみをもち始め、通学路に咲いている花を見てみると、地域の人々がみんなを笑顔にするために植えたのかなと思いました。新井田川を歩く人達が花々を見て、笑顔になつているのを見ると、花からパワーをもらつたり、勇気をもらつたりしていると思いました。私は、そんな花を植えたい、育てたいと思いました。

そんな思いで仕事をしているときに、校長先生が笑顔でこうおっしゃいました。

「暑い中おつかれ様。ありがとうございます。」

私は、ありがとうというこの一言がとてもうれしかったです。だれかのために人々を笑顔にさせるのはこういうことかと思いました。他にも教頭先生やたくさんの先生方が笑顔で声をかけてくださいました。その笑顔が私のパワーになりました。私たちが植えたその花が人のパ

ワーになり、それが私たちのパワーになる。まるでバトンのようにつながつていく。夏休みになったら校長先生が積極的に手伝つてくれました。それも一つのパワーでした。先生たちが言つてくださった事を思い出して、どんな委員会の仕事をしていきました。

ところが、みんなはあまり気づいてくれません。もつともつと花を見てもらいたいと思い、たくさん委員会の仕事をしました。環境委員会の友達や先ばいたちが一生けん命仕事をしているところが、私には輝いて見えました。

「こんなに努力したんだから、みんなに見てほしいよね。」

私と同じ思いでがんばっている人がいたんだなと思いました。

委員会の活動をしていると、一年生や二年生が、

「きれい。何を植えているんだろう。」

と、にこにこ笑顔で言つてくれました。私はすごくうれしかったです。友達も私も笑顔になりました。そんな時通りかかった友達が言いました。

「すつごくきれい。」

「元氣もらえた。」

なんとも言えないくらい、うれしくてうれしくてたまりませんでした。私達の笑顔の花だんが完成しました。